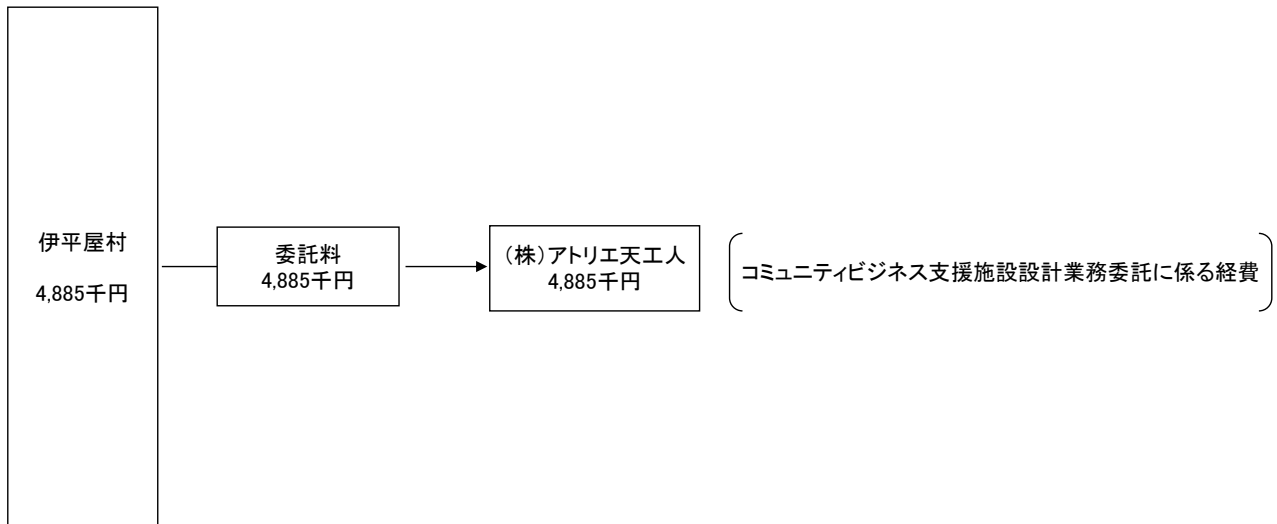


市町村名		伊平屋村					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑦	コミュニティビジネス支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24~25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交流と共創による農産漁村の活性化		
事業内容	コミュニティビジネスの拠点施設としてさとうきび関連商品や野草、薬草等の加工、販売施設を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
		(a)当初予算額	24,603	-			
	(b)予算現額	53,892	-				
	(c)増減額(b-a)	29,289	-				
	(d)繰越額	-	49,007				
	A.計(b+d)	53,892	49,007				
	B.執行済額	4,885	0				
	うち交付金充当額	3,907	0				
	次年度繰越額	49,007	0				
	執行率(%) (B/A)	9.1%	0.0%				
予算の状況の説明	<p>2面道路に面した本施設整備地において間口の方角や駐車場位置等、全体的な配置計画において住民より変更要望が上がったことから、既設上下排水位置との接続方法や建設用地の有効的な活用方策について見直しを行った結果、整備面積の確定に約5か月を要し、実施設計の発注時期に遅れが生じた。また、工事で、施設配置の変更に伴う配水管及び下水管の延伸工事(一次側)が必要となり、上下水道管理者の施工後に接続工事(二次側)を行う必要が生じたことから、その分、工事期間を延長する必要が生じた。</p> <p>繰越分については、本村発注工事については市場単価の高騰により発注工事が軒並み入札不調となる中、本事業においても積算等の見直しにおいて、執行可能予算をオーバーし設計が組めない状況になった。その為村単費で不足分の調整を検討したが、別件建築工事等も同じような状況で、不足分の予算確保が困難ととったため、建築工事について、次年度以降発注とした。</p>						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	加工施設整備工事		目標 (一式)	( )	( )	( )	
		実績	設計業務のみ				
達成状況説明	<p>繰越分については、本村発注工事については市場単価の高騰により発注工事が軒並み入札不調となる中、本事業においても積算等の見直しにおいて、執行可能予算をオーバーし設計が組めない状況になった。その為村単費で不足分の調整を検討したが、別件建築工事等も同じような状況で、不足分の予算確保が困難ととったため、建築工事について、次年度以降発注とした。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(30年度)
	加工施設整備工事		目標 ( )	(一式)	( )	( )	( )
			実績	設計業務のみ			
	【参考指標】		目標 ( )	( )	( )	( )	(2名)
	従業員雇用		実績				未達成
	【参考指標】		目標 ( )	( )	( )	( )	(5.1百万円)
加工販売額		実績				未達成	
進捗状況説明	<p>加工施設整備工事が完了していないため、従業員雇用、加工販売額の目標は未達成となった。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・平成24年度に実施設計を完了し、平成25年度に建築工事の実施を予定していたが、市場の物価上昇、村内建築工事の入札不調等が続き工事発注を断念した。本事業にて整備した施設の運営を行う予定だった組織が諸事情により解散してしまったことから、施設運営に係る計画も見直しが必要となっている。</p>	<p>・平成24年度の当初事業計画策定から5年以上経過しているため、設計の見直しが必要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・令和3年度の事業再開に向け、関係組織、団体及び地域住民からの意見を踏まえ、事業計画の見直し、整備後の関係団体及び運営組織についても調整を進めていく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,885	4,885	3,907	978	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約について この業務についてはバリアフリーやユニバーサルデザインへの対応や共同作業の指導、監督及び地域住民を含めた意思決定プロセスの構築や整備に係る行動計画の策定など、高度な専門知識と豊富な経験が必要とすることから一般建設コンサルタント等への委託は適合しないため。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	×	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	